

原発阻止した旧南島町で河江候補らが訴え7人入党

37年に及ぶ粘り強いたたかいで原発建設を阻止した町、三重県南伊勢町（旧南島町）の南島支部は26日、河江明美比例候補と手塚町議、谷中南部地区委員長が、事前に約束して5軒を訪問。10人入党を訴えて、一気に7人を党に迎えました。

河江候補らは「原発ゼロへ、国民的な大きな運動がまき起こっているいま、原発をつくらせなかった南島で日本共産党員が増えることは、全県・全国の大きな励み」地域を守り、暮らしを守る仲間にはぜひ、なつてほしい」と入党を訴え、次々と決意してもらいました。

市議を通じ党に厚い信頼

最初に決意したのは漁師の夫婦で、夫が即座に決意し、入党申込書に自らの名前を記入。つづいて妻も入党を決意して、河江候補らと固い握手を交わしました。

次の人は最近、夫をなくした人ですが、訴えに即座にこたえてくれました。

また、別の家では手塚町議が来るというので、仕事を途中で切り上げて待っていてくれました。家族みんなで声をそろえて「手塚さんの議会での質問や何でも相談にのってくれることから信頼を寄せられている」と言い、夫婦とお母さんが入党を決意しました。

最後に入党を決意した人は、「20年前、手塚さんが南島で立候補したとき、原発問題でも何でも、我々の思っていることをズケズケ

とはつきり言ってくれるので、その時から支持してきた」が、「共産党に入るのは、自分が何か偉くなるようで恥ずかしい。自分は普通の漁師や」と話されました。そこで、「共産党が、もつと国民に開かれた党となるためにも、『普通の漁師や』というあなたにこそ、黨員になつてほしい」と訴えると、固く握手してくれました。

10年来初で大量の入党者

手塚町議は、「今日は自分自身もたくさん学びました。地域の中で仲間を増やすことの大切さや党活動のあり方など、これまでの考え方を改めていくことが大切だと思いました」と話していました。

南島支部は今回、10年来で初めて、いつきよに多くの入党者を迎えることになりました。

オスプレイ反対!!

岩国集会で井上議員

井上さとし参院議員は22日、山口県岩国市のオスプレイ配備反対集会であいさつしました。

最悪の欠陥機であるオスプレイを岩国基地へ搬入しようとしているアメリカとそれにいいなりの野田内閣



をきびしく批判し、日本共産党はその根にある安条約を高く掲げてたたくと、決意を述べました。

貸金業法の改悪許すな

佐々木議員が日弁連の集会で報告

佐々木憲昭衆院議員は19日、日弁連主催の「改正貸金業法の成果を検証する——利息制限法の改悪を許さない」院内集会であいさつしました。

佐々木氏は2年前に施行された「改正貸金業法」を自民党と民主党の一部が、大幅に緩和することを検討していることと報道されたことについて、これは国民が望んでいるのではなく、貸金業界の要求だと指摘。「中小企業の資金繰りが悪化した」とか、「お金を借りられなかった人が無法な『ヤミ金』に流れている」などと言われるが、消費



生活センターの調べでは、ヤミ金被害の相談は4年前と比べて4分の1以下に減り、警察庁によくとヤミ金の被害人員は、同期間に3分の1になっていることを明らかにしました。

佐々木議員は「ほんとうに資金繰りを改善するならば、来年3月で切れる金融円滑化法を延長し、政府系金融機関本来の役割を果たすべきだ」と述べました。